



中村小だより

練馬区立中村小学校
(3990) 4241
令和3年度 2月号

明るいま未来に向かって

副校長 松村 信江

＜中村小学校 学校教育目標＞

- よく考える子ども
- さいごまでやり抜く子ども
- 明るく元気な子ども
- ◎なかよく助け合う子ども

オレンジ色に染まる朝日は穏やかで、春が一步步近づいていることを感じる今日この頃です。

今年度の教育活動も残すところ2か月となりました。一度は収束に向かっていると思えた新型コロナウイルス感染症は新たな極面を迎えています。

さて、これからの学校教育は児童・生徒が主体性、創造性を発揮し、日常生活との関わりと結び付けて教科の力を付けていくことが求められています。

中村小学校でも様々な制約がある中ではありますが、児童が主体的に考え、判断し、表現していく授業が進められています。全学年の様子をご紹介します。ここでは卒業を間近に控えた6年生の姿をご紹介します。

「これからどんな時代になるだろうか？」という教師の問いに対して児童は、『超高齢化時代』『グローバル社会』『多様性を重視する社会』『インターネット社会』『情報化社会』『AIが急速に発達する社会』と答え、これからの厳しい挑戦の時代をしっかりと見通して受け止めていることに感心しました。さらに「だから大切なことは何だろう？」という問いに対して「人と話すこと」「共感と尊重」「共通言語を学ぶこと」「人間にしかできない感情や会話を大切にすること」と発言した子供たちには、優しさたくましさをもって生きていく強い意志があり、とても頼もしく感じました。

俳句の学習では、言葉のセンスを磨きながら試行錯誤を繰り返し情景や気持ちを豊かな表現に繋げていました。図画工作科では一人一人が思いや意図を作品で表現しようと集中して取り組む姿、音楽科ではアプリを使い、音を通して楽しく試行錯誤しながらオリジナル音楽をつかっていく活動を、家庭科で

は日常生活との関わりからよりよい生活をするための工夫する姿がありました。社会科では時代背景を基に既習学習とのつながりを考えて新しい時代に対する発見を見出す姿、理科では既習学習を活かし、全ての事象が日常生活と密接に関わることに気付く姿がありました。

30年後は今ある職業の半分程度はAIが担う、あるいは消滅すると言われてはいますが、児童の姿から自ら明るい未来を切り開く力強さを感じました。

11月号で、ショパン国際ピアノコンクールで2位を受賞した反田 恭平さんのお話をさせていただきました。年末に特集をやっており、自分も弾いたことがある曲を演奏していましたが・・・奏でる音楽はとも同じ曲とは思えず、感動を超えた驚きと畏敬の念で圧倒されたことを思い出しました。魔術師のような指先で鍵盤と戯れ、それは、ちょうどフィギュアスケートの選手が氷上で難易度が高い華麗な技をいとも簡単に表現しているかのようでした。質の高い表現を見て感動することは、人間でなければできないことの一つとして貴重な時間だとしみじみ感じました。

その反田さんは、次なる夢を「世界中で音楽を学びたい人のために学校を創ること」と述べていました。学び続ける真摯な姿に心を打たれました。

新型コロナウイルス感染症との闘いと共存はしばらく続きそうですが、一人一人が歴史の一コマとなるよう、自分らしさを大切に、他と協調して生きてゆけたらきっと新しい価値のあるものが生まれ、いつのまにか明るい未来に向かって歩んでいるのではないのでしょうか。

今年度の残り少ない日々を教職員一同児童のために精一杯尽くしてまいります。保護者の皆様、くれぐれもお体を大切にお子様を見守り励ましていただきますよう今後ともどうぞよろしくお願いたします。

2月の行事予定

1	火	ふれあい月間始 全校朝会（オンライン）
2	水	
3	木	入学説明会（14：15～） ※1・2年生4時間授業（給食清掃後下校）
4	金	安全指導日
5	土	
6	日	
7	月	
8	火	音楽朝会（オンライン）
9	水	4時間授業
10	木	3年生社会科見学
11	金	建国記念の日
12	土	土曜授業（公開なし）
13	日	
14	月	5時間授業
15	火	代表委員会集会（オンライン）
16	水	校内研究会
17	木	
18	金	6年生を送る会（オンライン）
19	土	
20	日	
21	月	
22	火	児童集会（オンライン） 保護者会5・6年（15：00～・予定）
23	水	天皇誕生日 応援団祭り 予定
24	木	
25	金	卒業を祝う会 予定 1～5年生4時間授業
26	土	
27	日	
28	月	ふれあい月間終 保護者会3・4年（14：30～・予定）

新型コロナウイルス感染症の状況によって予定を変更することがあります。

〈2月の生活目標〉

「さむさにまけないでがんばろう」

1月末から寒い日が続いていますが、子供たちは休み時間、ボール遊びやなわ跳びなどを楽しんでいます。少し寒いけれど校庭で元気に体を動かすことで、健康で強い体をつくることができます。寒さに負けず、元気に活動できるよう指導していきます。また、2月は“ふれあい月間”です。子供たちの関わりがより温かいものになるよう、“見て”“聞いて”しっかり指導・助言していきます。

～芝生だより～

1月6日（木）に雪が降りました。土の部分はぬかるんでしまい、雪が溶けても利用するまでに時間がかかります。しかし、芝生は、雪が溶けるとすぐに校庭を使うことができます。夏の照り返しを和らげるだけでなく、冬にも子供たちにより環境を与えることを改めて感じました。



校内書き初め展

新学期の廊下に、全校児童が取り組んだ書き初めがずらっと並びました。1・2年生は硬筆です。お手本を見ながら一文字ずつ丁寧に書かれた文字は見応えがありました。3年生以上は毛筆です。3年「友だち」4年「明るい心」5年「新しい風」6年「将来の夢」を書きました。それぞれ、昨年からの練習に取り組んで頑張りました。感染予防等のため、保護者の皆様には学級ごとに紙面で鑑賞していただく形をとり、1月31日（月）で終了します。



寒くなり、ポケットに両手を入れて歩く姿が見受けられるようになりました。両手が使えないと危険ですので、寒い日は手袋を使用するなどご家庭でも見ていただきますようお願い致します。